

明科いいまち通信

No. 89

安曇野市明科中川手 6 8 2 4 番地 1

明科支所：☎62-3001 / 明科公民館：☎62-4605

いいまち通信は、
WEBでもご覧
いただけます。▶



<http://akashina.net/localinfo/newslist>

令和 7 年 5 月 15 日 発行



今月の明科の団体紹介



今回は

明科龍神太鼓

です



明科龍神太鼓

代表 河西 昌明

私たち明科龍神太鼓はここ明科を拠点に活動する和太鼓グループです。正式には『信濃之国安曇野明科龍神太鼓』と申します。

太古の昔、安曇平は大きな湖だったと言います。これを憂いた一人の少年、泉小太郎は母である犀龍の背に乗り、固い岩山を砕き、湖の水を日本海へと押し流しました。以後、安曇野は人々が暮らし五穀の実る豊かな平地となりました。

安曇野ではこの「犀龍小太郎伝説」が言い伝えられてきました。明科には龍が住むと言われる「龍門淵」があり龍神様を祀った社も存在します。

そんな「龍神様」の名前を拝借し、私たち龍神太鼓は 1994 年に結成されました。今年 31 年目を迎えます。以来、長野冬季オリンピック競技会場や穂高神社大遷宮祭での奉納演奏等さまざまなステージを経験してきました。コロナ禍前は、中学校での講座の開講やわいわいランドでの太鼓体験、明科高校での演奏指導や文化祭への参加もしました。現在は、園児から 70 代まで 17 名が在籍し、和太鼓の魅力を伝えるべく日々鍛錬しています。地域に密着した活動に力を入れ、安曇野ハーフマラソンの沿道応援やあめ市、さくらまつり、あやめまつり、納涼祭や芸能発表会、秋祭りなどで演奏を披露させてもらっています。どこかで私たちの太鼓演奏を聴いてくださったことがあるという方もきっといらっしゃるのではないのでしょうか。コロナ禍に練習や演奏が制限されて集まれなかった日々を越えてようやく仲間と太鼓を叩ける日常が戻ってきました。イベントやお祭りに呼んでいただく機会もぐっと増え嬉しい限りです。新しいメンバーも増え、やる気も増して技術の向上を目指して練習にも熱が入ります。



「かっこよかったよ!」「演奏すごくよかったよ」「子どもたちもがんばってるね」などの温かい言葉が活動の励みにもなっています。演奏発表は緊張しますが練習の成果を観たり聴いたりしてもらえる喜びもあり、何より太鼓が楽しい私たちです。一生懸命叩いた分だけみんなの心に響くと信じて、これからもよい音を届けられるようメンバー一同精進いたします。

毎週土曜日の 19 時半～明科南認定こども園隣のカヌー管理棟にて練習しています。この通信を読んでやってみたいと思った方はお気軽にお問合せ下さい。一緒にいい汗流しましょう。また演奏依頼は代表の河西までお願いします。



一安曇野で育まれる「発酵」という名の伝統文化一

信州には、それぞれの地域で受け継がれてきたとても貴重な伝統食文化があります。その中でも代表的なものとして、地域特有の微生物が棲み付いた発酵食はその独特の味と香りを持ち、普段の生活の中で親しまれ故郷の味となっているものも多いです。様々な種類の漬物、味噌、醤油、日本酒、近年ではビールやワインも作られており、原材料も信州産（安曇野産）であることが多く、全国でも有数の豊かな発酵による食文化を形成しています。

この安曇野でも、田畑で採れた自家野菜やその他農産物を用いて漬物や味噌など、その味と作り方は代々受け継がれ、皆さんの家庭でも美味しく楽しまれている方が多いと思います。例えば、野沢菜漬けや大根の沢庵漬けなど十人集まれば十色、皆それぞれの味付けや工夫を施してあり、色彩の豊かさと共に味の多様さはとても魅力的です。



そして、この伝統的な食文化に家族の存在は欠かせません。作る人がいて、それを美味しく食べる人がいる。そこには慎ましくも深い絆で結ばれた家族の形があります。しかし、現代は交通機関や情報技術の発達により信州のような山に囲まれた地域でも地理的な障害がなくなり、それに伴い核家族化と嗜好の標準化が進み、家族の絆と地域性の強い伝統食文化は徐々にその姿を消しつつあります。今我々が目の当たりにする食卓の風景が近い将来には一変してしまうかもしれません。一度失ってしまうと再生するのが容易でないのが文化の持ついち側面であり、これから大切なのは気軽に作る工夫と楽しみを若い世代と共有し、心身の健康に寄与する伝統食文化を見つめ直す必要があると思います。

最後に、私たち日本人が長い歳月をかけ磨き上げてきた発酵の知恵と工夫を次の世代へ伝えたいという想いから、明科の女性たちが中心となり「いいまちつくろうかい!!」の中に分班として2024年5月、発酵文化研究会が発足しました。「温故知新」を合言葉に美味しく受け継がれてきた大切な経験を元に、新たな学びと実践を重ねながら次の世代へ手渡す大切な伝統文化としてひとつでも多くの選択肢を増やすべく活動しています。発酵の織りなす様々な魅力を皆さんも見つけてみませんか？



明科公民館からのお知らせ

あかしなこうみんかん Akashina-Kominkan

← 7月
July

5月
May

イベント等の詳細については、
明科公民館(☎62-4605)までお問い合わせください。

青少年自然体験講座「ふるさとたんけん隊」第1回 ～森の自然たんけん～

日 時：5月31日(土) 午前9時～午後4時
場 所：国営アルプスあづみの公園大町・松川地区(明科公民館集合・解散)
参加費：小学生 600 円、保護者 1,050 円
定 員：20 人(先着順)
持ち物：外遊びができる服装、おやつ、飲物、雨具等
申込み：5月27日(火)までに明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

スマホ相談室 基礎編第2回

日 時：6月10日(火) 午前10時～正午
場 所：明科公民館 講堂
講 師：公民館職員
参加費：無料
定 員：15 人(先着順)
持ち物：お使いのスマホ
申込み：6月2日(月)、3日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



初夏のコンサート ～くつろぎのジャズ～

日 時：6月27日(金) 午後3時～4時30分
場 所：明科公民館 講堂
奏 者：ニュー・モダン・デュークス
曲 目：Fly Me To The Moon, Lamento 他
参加費：無料
申込み：不要



健康麻雀教室

日 時：7月8日(火) 午後1時～5時
場 所：明科公民館 会議室
講 師：安井 邦夫(明科公民館長)
参加費：200 円
申込み：6月30日(月)、7月1日(火)までに明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



初夏のカヌー体験

日 時：6月7日(土) 午前10時～午後4時(何時からでも可)
場 所：龍門渚公園
講 師：大沢 勇治さん(安曇水群代表)
参加費：無料
定 員：20 人(小学生以上)
申込み：5月26日(月)、27日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



お菓子づくり講座

日 時：6月12日(木) 午前10時～正午
場 所：明科公民館 調理実習室
講 師：依田 増千さん(笹屋店主)
参加費：600 円(材料代)
申込み：6月5日(木)、6日(金)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



セタコンサート

日 時：7月4日(金)
午前10時～11時30分
場 所：明科公民館 講堂
奏 者：飛山 真利子さん(ボーカル)、山縣 清香さん(ピアノ)
曲 目：見上げてごらん夜の星を、花は咲く他
参加費：無料
申込み：不要



夏の歌声ひろば

日 時：7月17日(木) 午後1時30分～3時30分
場 所：明科公民館 講堂
奏 者：柴田 勲さん
曲 目：夏は来ぬ、学生時代
手のひらを太陽に他
参加費：無料
申込み：不要



明科いいまちサロン(5月・6月)

5月 つながる歌声サロン

日 時：5月29日(木) 午後1時30分～午後3時
場 所：明科公民館 講堂
講 師：黒崎 真美さん(ピアノ伴奏及び歌唱指導)
参加費：500 円(お茶代)
申込み：不要
問合せ：明科公民館
(TEL:0263-62-4605)



6月 発酵と健康～いのちのはなし～

日 時：6月28日(土) 午後1時30分～3時30分
場 所：明科公民館 調理実習室
講 師：高橋 紗希恵さん(管理栄養士)
受講料：700 円(養生スープ付！)
定 員：20 人(先着順)
申込み：6月17日(火)、18日(水)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



第41回

安曇野明科

あやめまつり

令和7年6月14日(土)・6月15日(日)開催



あやめまつり
マスコットキャラクター
リーリオ



詳しくは市ホームページをご覧ください!!

URL: <https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/14/126873.html>



地域おこし協力隊 瀬戸さん・山崎さんの

明科インタビュー

ゲスト: FourSpeed Leathers
須山 哲也さん



今回は、明科七貴・川口商店跡で FourSpeed Leathers という名前のお店でレザージャケットを作られている須山哲也さんとの対談です。

山崎: こんにちは! 僕ら協力隊二人にとって年の離れた親戚のお兄さんのような存在の須山さんです。よろしくお願いします。

須山: こんにちは、お二人の活躍をインスタでいつも見てますよ。

山崎: ありがとうございます。改めて須山さんのこのお仕事についてお聞かせいただきたいと思います。

須山: もちろんです。さかのぼると中学時代、サッカーで怪我をしたんですよね。怪我が原因でサッカー部に戻れなくなって。そこから希望がなくなってしまった時期が続きました。なんとなく過ごしていた高校も終わる頃、進学に悩んだ須山少年は高校の頃唯一大好きだったファッションを学んでみる事を私の親から提案してもらいました。

瀬戸: ファッションの学校ではどんな事を学んだんですか?

須山: レディースファッションを学んでいたんです。高校の頃イタリアのインポートブランドの服が好きだったのもあったし、レディースファッションって曲線が多くて素敵なんです。普段はレザージャケットを作ってますが、実はかわいいパターンの布やレースも大好きで、いつかは自分の好みの服も作ってみたいんです。

山崎: すごい! レザージャケットからは想像できない須山さんの一面ですね(笑)

瀬戸: 明科発のファッションデザイナー須山さんが作るフリフリのかわいい服見てみたいです! 明科といえば、須山さんの明科の思い出はありますか?

須山: 小さい頃はよく明北小の裏の山を登ったり下りたりしてましたね、向こうまで行ったら何があるのかって。結局何もなくて発見は何もなかったんですけどね(笑)

山崎: 小さい頃からアウトドアアクティビティを楽しんでたんですね! アウトドアアクティビティといえば、龍門淵公園にアウトドア拠点構想がありますが、今後どんな風になるといいと思いますか?

須山: アウトドア拠点もそうだけど、明科を盛り上げるという視点で見ると自転車で来る人にはとてもいいと聞いたよ。バイクで来る人や明科駅を利用する人に使ってもらえる駅前のカフェがあるといいな。車を止められる場所も少ないから、そういうのが整うといいですね。

瀬戸: 駅前の更地や龍門淵公園、廃線敷や長峰山など点と点がつながると、明科ももっと盛り上がりそうですね!

山崎: 楽しいお話がたくさん聞けました! ありがとうございます。最後に明科の皆さんへ一言お願いします。

須山: 毎年5月中旬に私がお店を構えている七貴の川口商店さんの前でイベントをやりますのでお気軽にお店を覗いたり、見物に来てくださいね、お待ちしております。

瀬戸・山崎: ありがとうございます!

編集後記

・水田に稲が植えられ、風薫るさわやかな季節になりました。秋には米不足は解消されるのでしょうか。最近では米の節約のためラーメンを食べています。しょうゆ、みそ、とんこつと味を変えて食べていますが、さすがに飽きました。おにぎりをたべたいですね。(や)
・今年も安曇野明科あやめまつりが開催されます。多彩なイベントや出店を予定しております。皆様のご来場をお待ちしています。(み)

いいまち通信の掲載記事を募集します

明科いいまち通信へ掲載する記事を募集いたします。なにか発信したい内容などがありましたら、是非ご投稿ください。

募集内容 住民のみなさまからの記事・文章・写真・俳句・ご意見など

投稿要項 ・投稿する際は必ず氏名・住所・連絡先を記載してください。

・記事内容は、明科いいまち通信編集会議で検討いたします。

投稿方法 ①明科支所(明科中川手 6824-1)へ持ち込む または

②Eメールで送る ⇒ akashina-shisho@city.azumino.nagano.jp

お問合せ 明科いいまち通信編集担当 (TEL:62-3001 FAX:62-4747)